

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年9月22日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	農学部食料環境政策学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年9月19日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学ロサンゼルス校(日本語名) University of California, Los Angeles(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語(米)/英語(米)
留学期間	2024年6月～2024年9月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: ~ 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	44,331
創立年	1919年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	\$6750	1106512 円	施設使用料、保険料、その他手数料込
宿舍費	\$4885.76	812203 円	寮の食事代 1 週間 14 食込み
食費		円	キャンパス外に遊びに行った時の外食代など
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		16900 円	出発前に Amazon で現地用 sim カードを購入
現地交通費	890	130000 円	Uber や Lyft などのシェアライド代、バス代など(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		300000 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		27060 円	形態: 明治大学指定の海外保険
渡航旅費		154430 円	
ビザ申請費		30000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	12525.76	2570000 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田空港 目的地: ロサンゼルス国際空港 経由地: 復路 出発地: ロサンゼルス国際空港 目的地: 羽田空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ZIPAIR 料金: ¥80680 復路 航空会社: American airlines 料金: ¥73750 ∴ 合計: ¥154430
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: trip.com) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Olympic Hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3名)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
UCLA housing
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
共用バストイレは毎日清掃が入るため、基本的に綺麗で快適でした。エアコンもついています。キャンパス内の食堂で1週間に14食つくミールプランも一緒に申し込みました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

渡航前に危険なエリアなどをインターネットで調べていましたが、現地出身のルームメイトに教えてもらうことで初めて知り、ためになったこともありました。現地に住んでいる人に聞くのが一番安心できると思います。心掛けていたことは、日が沈んでから女の子だけでキャンパス外を出歩かないこと、地下鉄の利用は避けること、ペッパーズプレーを常時持ち歩くことなどです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アメリカ用のsimカードをAmazonで購入して、現地に到着してから差し替えて使っていました。キャンパス内ではWiFi接続が可能で、どちらも問題なく使えました。キャンパス外ではfree WiFiはあまりなかったように感じます。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ほとんど親の口座から引き落とされるクレジットカードで支払いをしていました。友達と出かけて割り勘する時用に現金も\$200程度用意して持っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

ロサンゼルスには日本スーパーなどがたくさんあるため調達できないというものはあまりありませんが、ほとんどが高いので日本のお菓子やカップラーメンをたくさん持っていくと良いと思います。寮にケトルがなかったため、カップラーメンなどが食べたくなったときにケトルが役に立ちました。爪切りも日本のものが品質がいいと聞いたので持って行きました。寮の共用バスルームにはアメニティやドライヤーがないため、日本から持って行った方が安く抑えられると思います。また、絆創膏やその他薬系は日本のものが安心なのでお勧めします。日本人でアメリカの酔い止めを飲んで腹痛を感じていた人がいました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前(4月)にクレジットカードで支払いました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input type="checkbox"/> 未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Conversation and Fluency	会話と流暢さ
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	2024/6/24-2024/8/7
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回
担当教授	Hugh Sam, J.M.
授業内容	ネイティブの英語の会話の技術について学ぶ。
試験・課題等	グループプレゼンテーション、オリジナルスキット、会話の分析レポート
感想を自由記入	中国人が多かった。留学生向けの授業で友達が作りやすかったと思う。この授業でできた友達と一緒に出かけたりもした。先生が一方向的に話すのではなく、積極的に学生に意見や発言を求めるので 150 分の講義が毎回充実していた。また少人数のため発言しやすかった。プレゼンやみんなの前で発表する活動が多いため、人前で話す練習になり、自信もついたように思う。他の留学生との活動でコミュニケーションや価値観の違いに苦労したこともあったが、自分の視野を広げられる良い機会になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principle of Economy	経済学入門
科目設置学部・研究科	ECON
履修期間	2024/6/25-2024/8/8
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	McDevitt, E.P.
授業内容	経済学の初歩的な内容の解説
試験・課題等	中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	<p>現地の学生も多く、彼らの授業を受ける姿勢や積極的に発言する様子に感銘を受けた。レベルの高い現地の学生と同じ授業を受けることができモチベーションが高まったが、受講人数が200人以上と多いため、友達を作れるという雰囲気ではなかった。自分次第で話しかけてみたらよかったと思う。</p> <p>授業は経済学の基本を包括的に講義するもので、私は明治大学で似たような内容の授業を受けたことがあったが、初学者が全て英語で理解するのは難しいように感じる。成績評価は中間、期末の2つのテストの結果のみでつけられる。範囲も広いのだがむしろに勉強できて良い機会になった。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Learning American English and Culture from Movies	映画から学ぶアメリカン英語と文化
科目設置学部・研究科	COMM
履修期間	2024/8/5-2024/9/11
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Negrete, T.
授業内容	毎週一つアメリカ映画を鑑賞し、その映画で描かれている当時のアメリカ文化についてディスカッションを行い、理解を深めていく。
試験・課題等	毎週2つエッセイ、最終個人プレゼン、最終レポート
感想を自由記入	<p>留学生向けの授業。個人的にはこの授業に参加していなかったら知らないままだったであろう、アメリカ映画の名作が見られてよかった。アメリカの文化を学ぶ授業ではあるが、ディスカッションの過程で他の留学生の国の文化についても知ることができた。授業外では毎週エッセイを2つ提出する課題があり、ライティング能力も鍛えられたと思う。先生の“間違いなんてない、自由に感じたことがあなたの正解なのだ”という姿勢のおかげで間違いを恐れずに自分の意見をまとめることができた。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Film and Television Directing	映画とテレビのディレクティング
科目設置学部・研究科	Film and Television
履修期間	2024/8/5-2024/9/11
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Borey, C.W.
授業内容	映画制作の過程について
試験・課題等	オリジナルのショートストーリーについて、脚本、キャスティング、など映画制作に関わる工程を実際に考えてみる
感想を自由記入	UCLA は映画で有名なハリウッドの近くにあるため、日本では体験できないような授業だと思って受講した。初めて聞く言葉、馴染みのない作業が多く、大変で時間がかかったが、その分とても充実していて楽しかった。オリジナルのショートフィルムを作るとして、実際に衣装や撮影場所、小道具などを考えたり、絵コンテを作ったりした。面白い経験ができたと思う。グループワークもあるため友達も作りやすかった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEIC 受験
	8月～9月	説明会参加
	10月～12月	応募、合格
留学開始年	1月～3月	オリエンテーション、UCLA に登録、ビザ申請
	4月～7月	ビザ取得、滞在先の確保、航空券購入、出発
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は、世界的に有名な名門大学で学んでみたかったのと、ロサンゼルスで生活することへの憧れがあり、UCLA に決めました。UCLA は先生が本当に優しい方ばかりで、キャンパスの雰囲気も素敵だったので、ここに来ることができて本当に良かったと思いました。学生は主体的に授業に参加したり、他にも課外活動に力を入れて忙しそうにしていたりという様子が印象的で、同じ大学生として多くの刺激を受けました。明治大学での残りの大学生生活の過ごし方を見直すきっかけにもなりました。

また、卒業を遅らせたくなかったため 3 か月のサマープログラムを選びましたが、当初はこれは少し短いのではないかという不安がありました。しかし帰ってみてから考えると、短すぎるということはなく、十分充実した留学生活を楽しめたと思います。サマープログラムは、現地の学生にとっては夏休み期間であるため留学生が多く、授業でたくさんの留学生の友達を作ることができました。現地の学生のみでなく、世界のいろいろな国から来た友達を作り、お互いの国について話をするのができて自分の世界が大きく広がりました。留学生の友達やルームメイトと一緒に休日はロサンゼルス観光して、思い出もたくさんできました。ロサンゼルスは世界的に有名な観光地がたくさんあるので、滞在期間はお金を気にせずいろんなところに出かけて、いろんな景色を見るべきだと思います。

自分の人生において忘れられない、大変濃い 3 ヶ月になりました。

絶対に行って後悔しないと言えるので、留学に行くかどうか迷っている人、少しでも気になっている人にはぜひ挑戦して欲しいと思います。